

# 市民政党 草の根

<http://kusanone-iwakuni.net/>

第8号 2012年5月



発行 市民政党「草の根」  
代表 井原勝介  
住所 〒740-0017  
山口県岩国市今津町  
2-17-20  
電話 0827-21-9808



## 新たな 市民政党の立ち上げ 代表 井原勝介

先の市長選挙の際には、大勢の方に温かく、そして力強い応援をいただき、本当にありがとうございました。私の力不足により、皆さんのご期待にそうことことができず、申し訳ない思いで一杯です。今、私たち「草の根」の活動も大きな試練に立たされています。今後我々は何をなすべきか、幹事会で議論を重ねてきました。

そして、先日4月21日の運営会議にご相談した上で、「草の根ネットワーク岩国」を発展的に解消し、新たに市民政党「草の根」を立ち上げることにしました。

その趣旨は、次の通りです。

我々は、2008年4月に市民の政治グループとして「草の根ネットワーク岩国」を設立し、市民の意思が尊重される「市民主義」の政治の実現を目指し着実に活動してきました。その目的の達成はいまだ道半ばにして、現実の政治は、明確な理念もなくただ権力争いを繰り返し、ますます混迷の度を深めています。閉塞感の中で、国民の政治に対する不信感も募るばかりです。もはや、既成の政治・政党には任せておません。

新しい時代を切り拓くため、「草の根ネットワーク岩国」の理念をさらに発展させ、新たな市民政党を立ち上げます。政治と官僚と業界がもたれあう古い政治と

訣別し、保守でも革新でもなく、市民・国民のために命をかけて働く本物の政党をつくり、政治家を育成し、地域からこの国の政治の仕組みを根本的に変えるために立ち上がります。日本で初めての市民による政治革命を起こしたいと思います。

◆ 日本の豊かな自然環境と

そこに育まれる固有の文化が大切にされ

◆ 自由で自立した市民が支える

草の根の民主主義が息づく

◆ そして、市民一人ひとりが

日々平穏に生活することができる

そういう品格と誇りある社会をつくりたい。  
(市民政党「草の根」の理念や政策などは、  
3面を参照してください)



運営会議の様子

## 市長選を振り返つて

# 新しい理念に力を結集しよう

後援会代表 南部 博彦



市長選が終わって早二ヶ月余が経った。岩国市民の良識を信じて戦った選挙戦であったが、力及ばず敗れてしまった。ともに戦ってくれた支援者の皆様に、まずは「ありがとう！」「苦労様！」と申し上げたい。

昨夏以来、全市を隈なく歩いた井原勝介氏の活動振りには、頭が下がる思いがあり、その情熱にほだされて後援会代表を引き受けたが、今にして思えば、私のような選挙に疎い者が草の根運動を基盤にした市民派の選挙が何故勝てなかつたのか、私の不徳など理由はいくつも挙げられるが、地方都市特有の政治意識の低さが大きな壁になっていたと私には思われてならない。

岩国市の貴重な財産である愛宕山を、169億円というは

した金で国に売り渡してなんらかの現状を見ると、遅じようどしない県政、市政の現状を見るにつけて、そんなはずの政治意識の低さをどうすれば改善できるのか、大きな課題を背負ってしまった。

しかし、ここでたじろぐわけにはいかない。井原勝介氏の掲げる理念を信じて、みんなで力を合わせて地道な草の根運動を続けて行こう。

## 県議生活1年 井原すがこ

### 愛宕山売却と米軍再編の姿勢を質す 政務調査費受け取りの辞退

遠いと思われるがちな県政に、身を投じて1年が経ちました。この間、4回の議会と2回の県内外視察などいろいろな経験をいたしました。

私がこの1年、県・特に知事に対して一生懸命その姿勢を質したことは「愛宕山売却と米軍再編問題」そして「政務調査費問題」でした。

愛宕山については、守る会の方々とも一緒になって必死でがんばってきたのですが、とうとう3月23日に国と県の間で愛宕山を防衛省へ売る契約が交わされました。岩国は山口から遠い東の端にあり、これまで市民の声が充分届いていなかったように思います。

また政務調査費については、「議会改革検討会」が発足し、不透明な政務調査費（年間420万円）の用途などについて掘り下げた議論が交わされるようになりました。この会は、カレンダー問題や私の平成23年度の政務調査費辞退の姿勢も大きく関与していると思われます。

山口県は今後も、上関原発建設や空母艦載機移駐問題など、大きな課題を抱えながらの県政運営が続きます。

その他、県道の補修や河川、福祉問題などみなさんからいろいろな課題や要望などもお受けしました。フットワークを軽くして、生の声をこれからも聞いてまいりますので、よろしくお願ひします。

井原すがこの想い（ブログ <http://blog.goo.ne.jp/sugako31>）

日々の想いをつづってありますので、ぜひご覧ください



# 市民政党 草の根 について

理念と政策、活動方針などは、次の通りです。  
引き続き、ご支援をよろしくお願ひします。

## 1. 基本理念

- ① 市民の政治活動と選挙の自由が確保され、政治のすべての過程において、常に市民の意思（民意）が尊重される眞の民主主義を実現する 一市民主義一
- ② すべて情報は広く公開し、法律に基づく公平・公正な政治を行う 一公平・公正一
- ③ 憲法の精神を大切にし、諸外国との相互信頼・協力関係を通じて平和を創る 一平和一

## 2. 基本政策

- ① 財政再建  
安易な増税に頼らず、政治家が身を削り、無駄を徹底的に省く  
国会議員の定数大幅削減、官僚機構の徹底したスリム化
- ② 社会保障  
持続可能で安心できる社会保障の確立
- ③ 外交・防衛  
自立した主体性のある外交の確立  
近隣諸国との友好・信頼関係を構築しながら、米軍基地を段階的に縮小
- ④ 原発・エネルギー  
明確な期限を設けて、すべての原発を廃止し、自然エネルギーに転換
- ⑤ 市場開放(農業その他)について  
T P P(環太平洋連携協定)への拙速な参加には反対

## 3. 活動方針

- ① 市民政黨の設立構想」を発表し、全国に同志を募る。
- ② 理念と政策を実現するため、政治家を育成し、国や地方の政治に送り出す。

## 4. 組織

- ① 党員資格 理念と政策に賛同する個人(但し、他の政党や政治団体に属する者を除く)
- ② 党費 党員 年千円  
特別党員 年1万円  
(党の活動に特別に協力又は参加したいと思う人)
- ③ 寄付 選挙に向けて財政基盤を強化するため、広く寄付を募る  
(企業・団体ではなく個人寄付に限る)



## 平成24年度事業計画

4月21日の運営会議（最高意思決定機関）で承認された事業計画項目です。各計画の実行に当たっては必要に応じ広報します。

- \* 運営会議（臨時開催を含む）
  - \* 市民政党「草の根」大会
  - \* 会報発行（2回）
  - \* ニュースレター発行（随時）
  - \* 草莽塾
  - \* 地域集会・ミニ集会など（随時）
  - \* 若者の会
  - \* 女性の会
  - \* 農業支援（農園作業・草刈り）
  - \* 各委員会活動



事務局だより



**市民政党「草の根」として、スタートいたしました。**  
引き続き党員になって頂きますようお願いします。  
なお、党費の納入については次の中からご都合のよい方法でお願いいたします。

- ①お届けする振込み用紙で
  - ②地域お世話人へ
  - ③直接事務所へ

党費 党員は年千円、  
特別党員は年1万円です。  
広く寄付も募っております。  
どうぞ、よろしくお願ひいたします。

草の根事務所

ボランティア募集

午前の部 9：30～12：00  
午後の部 14：00～17：00

- \* 土日祭日は休みです
  - \* 昼休みは2時間あります
  - \* 男女を問いません
  - \* 午前、午後どちらでもかまいません
  - \* 勿論、フルタイムでも歓迎です

やってみようと思われる方  
草の根事務所へお電話ください。  
電話 0827-21-9808



草の根コラム

政治、普通に使われる意味は「国や自治体の統治」のことだろう。それを行うのは国会議員であり地方議会議員をさす。では國に目を向けてみよう。庶民感覚では、政争や政局に明け暮れている。その結果はどうだろう▼民主党と自民党支持率の合計がわずか40%台と情けない。これは、国民のための議論が行われず、議員自らの身の処し方に目が向いていることの証である。小政党についても大同小異で「いいことばかりり言つている」としか思えない▼その根本原因是「庶民の生活感」を知らない愚かさにある。国民が生活の安心安全へどんな願いを持っているか、分かつていなからだ▼こんな体たらくを変えようと「草の根ネットワーク岩国」は『市民政党「草の根』』と改称し『市民主義』の政治実現をより強力に目指すことになった▼そこには、日本の自然環境と固有な文化を大切にし、自由で自立した「草の根」の民主主義を確立する姿勢がはっきりと示されている▼その曉に、市民一人ひとりが日々平穡に生活できるともしている。「品格と誇りある社会構築」に向けた政治路線に期待する。

〒740-0017 住所 岩国市今津町2-17-20  
URL <http://kusanone-iwakuni.net/>